

# 入賞作品集

## ☆ 優秀賞

【住宅建築】

作品名（建築物名称）	Kさんの家
設計者	松島健建築設計事務所

### 【審査講評】

高台にあり自然豊かなロケーションでUターンのご家族が豊かなくらしを過ごす家である。ポーチと中庭を挟み母屋と離れの子供部屋で構成されている。子供部屋は将来様々な使い方が想定できそうであり、分棟形式がこれに利すると感じる。母屋が建つ敷地部分はレベルさがあり、アプローチと反対側は900mm程度下がっている。ここを奥庭や駐車場として、1階、階段中2階スペース、2階、および階段上ロフトスペースという5つの縦空間が背骨のように母屋を貫いている。中2階からロフトスペースまでは階段と接して本棚も貫いているため、この2つの小スペースが書斎や遊び場として、家族のライフスタイルをさらに多様に引き出している。2階のLDKからは街の眺望が広く望めるが、同時に天井が高く設定されているためハイサイドの窓からは空も切り取られて室内に映ってくる。平面的な空間の広がり、断面的な空間の連なりがバランスよく構成されており、豊かな自然を感じ、家族を感じ、生活を楽しめる家となっている。



(C)Hideki Ookura/Kurome Photo Studio



(C)Maritima Design

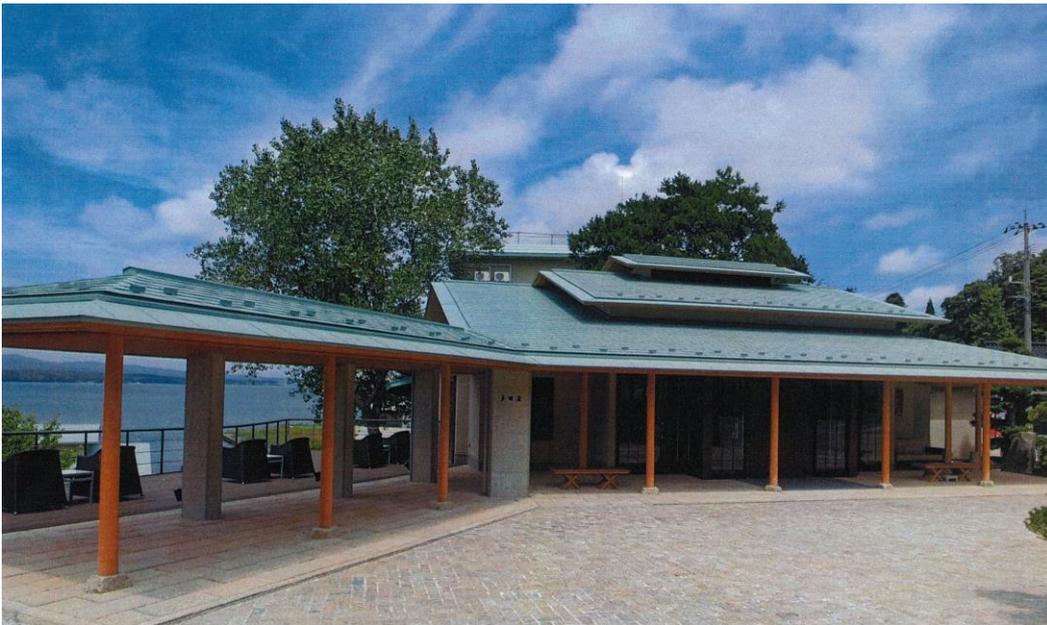
# ☆ 入 選

## 【一般建築】

作品名（建築物名称）	多田屋	所在地	七尾市
建築主	(有)白崎シーサイドホテル・多田屋		
設計者	安田建築スタジオ		
施工者	(株)豊蔵組		

### 【審査講評】

旅館脇の駐車場であった場所をアプローチ広場および玄関とし、斜面地を渡るデッキを通じて既設の受付フロントやロビーに向かうものである。この受付フロント部分は元の玄関であり、かつてはこの部分から直接ロビーに入ってきたものを、空中デッキにより海を望みながらアプローチするかたちに変えた。アプローチ広場は日本海を雄大に望めるロケーションであり、テラスや東屋も併設され気持ちの良いリゾート空間である。玄関ロビーの正面奥は斜面地の既存樹木が大きく目に映り、水から緑に景色が変化する。これを抜けて空中デッキに進むと再び海の景色が現れ、風景をつなぎながらアプローチする。デッキはあえて湾曲されており、受付フロントやロビーがストレートに見えない工夫もなされている。内装、家具、照明等も丁寧にデザインされており、玄関・デッキの増築ながら、周辺環境の価値をふんだんに取り入れ、既存建物の質も大きく変える価値を創出している。



# ☆ 入 選

## 【一般建築】

作品名（建築物名称）	石川テレビ放送メディア館・新館・マスター館	所在地	金沢市
建築主	石川テレビ放送株式会社		
設計者	日建設計・五井建築研究所設計共同企業体		
施工者	株式会社竹中工務店 名古屋支店		

### 【審査講評】

制作スタジオ、報道・制作部等の入った放送建物の全面改築である。三方に既存建物があり、それらとの接続や既存建物の外観改修、周辺緑化も含まれている。住宅地側に位置するファサードは、和紙調ガラスのランダムな配置やマスコットキャラクターの壁面演出など、表情豊かでオープンな雰囲気になるようデザインされている。この内部は報道・制作部オフィスや会議室となっており、ガラス窓の開閉による自然換気もできるようになっている。1階エントランスホールは大きなガラス面によるオープンな空間となっており、奥にある和紙の光壁が金沢らしい落ち着いた雰囲気を醸し出している。二方の既存建物とつながるための回遊型の廊下配置、報道・制作部、報道デスク、制作スタジオを連続させた空間配置など、計画上の工夫もみられる。また、施設機能上、施工は極めて高精度で行われており、全てにわたり隙のない仕上がりとなっている。



# ☆ 入 選

## 【一般建築】

作品名（建築物名称）	コッコレかないわ	所在地	金沢市
建築主	加賀建設株式会社		
設計者	株式会社ナカエ・アーキテクトゥー級建築士事務所		
施工者	加賀建設株式会社		

### 【審査講評】

施主会社の駐車場を敷地として、人の集まる場の建築をつくるという建築企画である。施主はこの条件のみ提示し、建築家がプログラムや建築を提案するというプロジェクトとなった。敷地は金石の海辺沿いにあり、オープンなロケーションである。これに対し、小丘型のランドスケープをつくり、その低部に店舗と地域ラウンジ、内部に飲食店舗客席、丘の上にオフィスと展望テラスを配置する奇抜な複合建築がつけられた。このあり方に必然はないが、周辺に対する違和感も感じない。特に丘の上のテラスは海への眺望が開け、ゆっくりとした時間が過ごせる。丘、海、地中のレストランなど小さな領域ながら多様な空間が楽しめ、寄り付きやすいオープンさもある。その理由からか、平日でも多くの賑わいがあり、施主の要望を十分に満たす結果をもたらしている。地域発展に資する、また施主自身の姿勢も大きな評価に値する建築である。



# ☆ 入 選

## 【住宅建築】

作品名（建築物名称）	5 4 5 4（ごしごし）
設計者	KELUN
施工者	道場建設株式会社

### 【審査講評】

クリーニング店舗と併設した平屋住宅であり建築配置はいたってシンプルである。しかし、2棟のボリュームや配置によって生まれる空間関係は、隣接する神社の境内や北側に広がる田園といった周辺環境に調和した佇まいとなり、庭やテラスが周辺環境と連続してその良さを敷地内に引き込むかたちとなっている。クリーニング店舗は、作業の流れに対して直線的に合理的に作られており、設備配置を含めて無駄な空間が見られない。これとは対照的に、併設された長いテラス空間は冗長であり、のんびりとした雰囲気醸し出している。このテラスが連なりながら住宅へと導いていくが、仕事から安らぎへの切り替えを促している。住居空間もシンプルな構成であり、直線的配列である。しかし、リビング・ダイニングへと誘う長い廊下は収納壁を合理的に収めており、空間全体の伸びやかさを感じさせる。また、各居室は神社を借景としたテラスや庭につながっており、敷地の境界を感じさせない生活が楽しめる。



# ☆ 入 選

## 【住宅建築】

作品名（建築物名称）	金沢を望む家
設計者	(株)シー・プランニング建築設計事務所
施工者	(株)シー・プランニング

### 【審査講評】

御参词坂を登り切る位置に配した住宅であり、犀川を挟んで小立野方向に広く眺望が開けている。建築名が素直にコンセプトとなったシンプルな建築である。アプローチ側は住宅地の新しい道に、生活方向は歴史的な御参词坂に接していることにも配慮しており、そこにあるべき佇まいをテーマとしている。眺望の軸はアプローチ道路から45度振れて、室内空間は眺望軸に合わせて構成しているため、ファサードの外観は眺望軸をあえて感じさせるデザインとしている。このため、室内空間やバルコニーの一部に鋭角のスペースができていますが、無理な空間使用とはなっていない。居住空間の中心には1階のLDKと2階の多目的室のオープンなスペースがあり、ともに金沢の眺望を大きく取り入れていることで空間規模以上の開放性を感じさせる。その他、小窓の配置とこれを通じた内外の多様な関係の構築、キッチンレベルの操作、御参词坂に配慮した木製フェンスや緑化など、細部にも目の行き届いた設計となっている。

